

外国人看護師候補者資格取得支援事業

【事業概要】

E P A外国人看護師候補者帰国者に対する学習支援

【背景】

平成20年から厚生労働省が実施しているE P A外国人看護師候補者受入れ事業では、平成21年から26年度の看護師国家試験の合格率（帰国者を除く）は、全国7.5%、福岡県4.2%と非常に低い状況で、制度上は、帰国後も再受験可能となっているが、再受験者はほとんどいない状況である。

その様な中、北九州市小倉医師会では平成25年度から再チャレンジプログラムを実施しており、対象者の平成26年度の合格率は、看護師国家試験14.3%、准看護師試験81.8%と高い実績を上げ、小倉地域の看護職員の確保に大きく貢献している。

少子高齢化が進む現代社会においてこの北九州市小倉医師会の再チャレンジプログラムを福岡県内全域に広げ、看護職員の安定的確保の一つの手段にすることを目的に、今般、本会で事業を実施することとした。

【事業内容】

①インドネシアに帰国した看護師候補者に対する現地での支援

看護教員をインドネシアに派遣し、E P A外国人看護師候補者帰国者に対して、日本語能力の強化・資格試験問題対策・弱点強化等の集中講義（4ヶ月間）を実施

②上記集中講義を受講した者で看護師国家試験に不合格だったが准看護師試験に合格し、県内の医療機関に就労している者への看護師国家試験対策・弱点強化等の学習支援を実施

※北九州市小倉医師会及び久留米医師会の協力のもと2ヵ所で実施中

【スケジュール】

- 8月13日 選抜試験（Medan）
- 8月14日 選抜試験（Jakarta）
- 10月10日 開講式
- 2月上旬 来日
- 2月中旬 看護師国家試験・准看護師試験